

**薬局における疾患啓発と
相談機能に関する
薬剤師と患者のギャップ調査**

株式会社ネグジット総研
株式会社QLife
2011年1月

目次 / 調査概要

- 目次 ……p.1
- 調査概要 ……p.2
- 患者(定期的に通院している一般生活者) ……p.3～ p.6
 - 総括 ……p.7
- 薬局勤務薬剤師 ……p.8～p.12
 - 総括 ……p.13

調査概要

調査概要

調査名

薬局における疾患啓発と相談機能に関する薬剤師と患者の意識調査

調査実施期間：2010年11月5日～19日

調査方法：WEBアンケート

調査サンプル数：

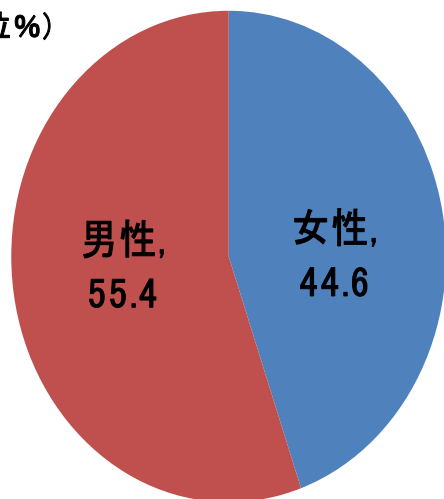
- ＞患者（定期的に通院している一般生活者）：500名
- ＞保険薬局勤務薬剤師：200名

患者(定期的に通院している一般生活者) 500名の回答者属性

回答者属性

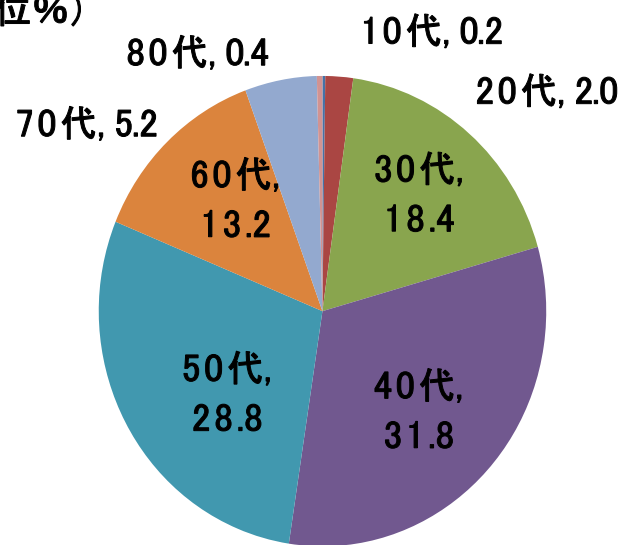
性別

(単位%)



年代別

(単位%)



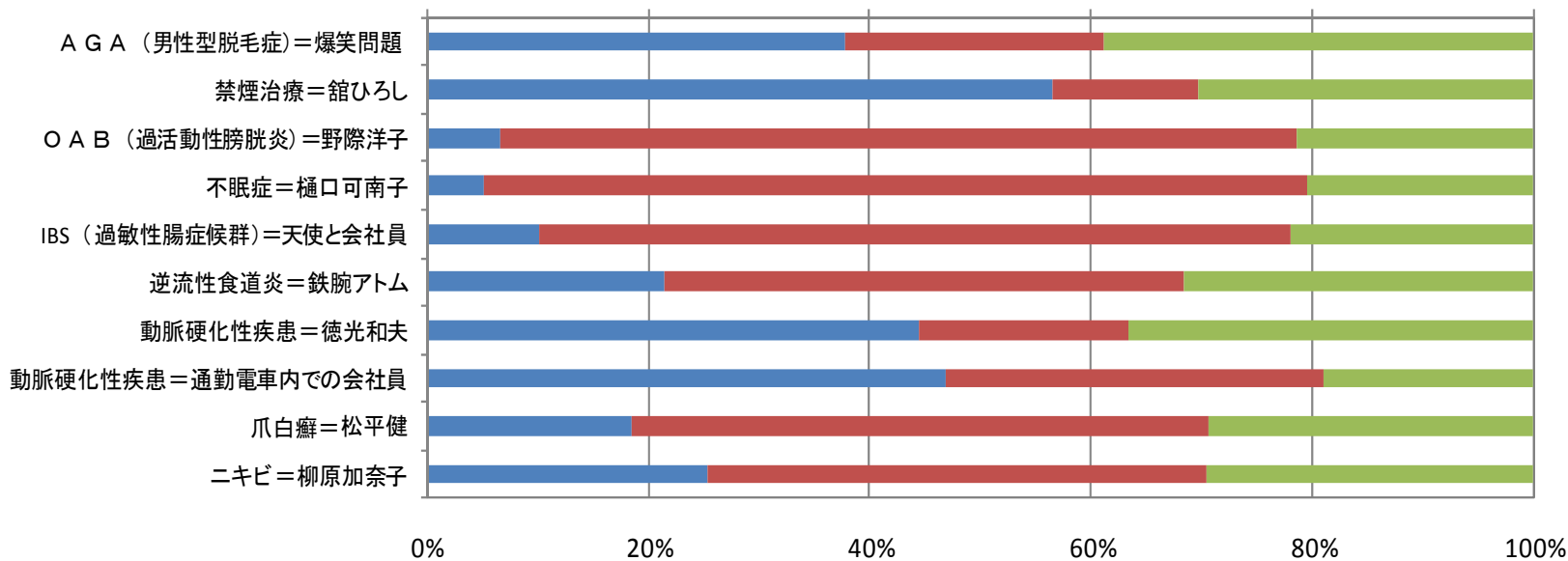
1.DTC テレビCMの認知度

■ テレビCMの認知度(調査対象:患者) (単位:%)

■ 印象に残っている

■ 記憶にない

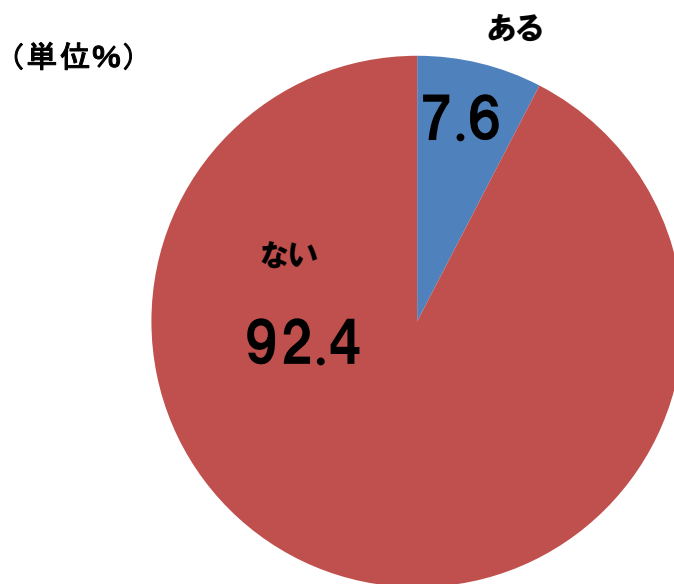
■ 見たことはある



ID	カテゴリ	印象に残っている		記憶にない		見たことはある		計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	AGA(男性型脱毛症) = 爆笑問題	189	37.8	117	23.4	194	38.8	500	100
2	禁煙治療 = 館ひろし	283	56.6	65	13	152	30.4	500	100
3	OAB(過活動性膀胱炎) = 野際洋子	33	6.6	360	72	107	21.4	500	100
4	不眠症 = 樋口可南子	26	5.2	372	74.4	102	20.4	500	100
5	IBS(過敏性腸症候群) = 天使と会社員	51	10.2	339	67.8	110	22	500	100
6	逆流性食道炎 = 鉄腕アトム	107	21.4	235	47	158	31.6	500	100
7	動脈硬化性疾患 = 徳光和夫	222	44.4	95	19	183	36.6	500	100
8	動脈硬化性疾患 = 通勤電車内での会社員	234	46.8	171	34.2	95	19	500	100
9	爪白癬 = 松平健	92	18.4	261	52.2	147	29.4	500	100
10	ニキビ = 柳原加奈子	127	25.4	225	45	148	29.6	-	-

2. 薬局、薬剤師に対する相談窓口としての期待

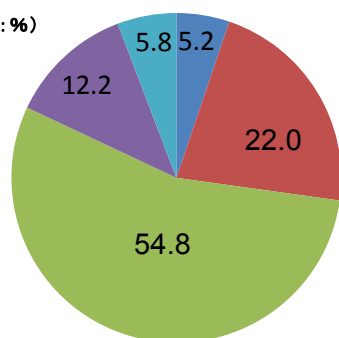
Q2. テレビ(番組、コマーシャル)、健康関連の雑誌、インターネットなどから知り得た疾患に関する情報について薬局、薬剤師に問い合わせ・相談したことがありますか？



2-2. 薬局、薬剤師に対する相談窓口としての期待

Q3. 「疾患に関する相談」「病医院の紹介」など、処方せん薬以外の問い合わせ窓口として、
薬局、薬剤師を利用したいと思いますか？

(単位：%)



- 積極的に利用したい
- 利用したい
- 何ともいえない
- あまり利用したくない
- 利用したくない

27.2%

Q3-2. Q3で「積極的に利用したい」「利用したい」を選択された方にお聞きします。薬局、薬剤師にどのようなことを期待されますか？
<フリーアンサー集約>

- ・かかりつけ医を替えたいときに相談できるので。
- ・漢方についても少しは知っていてほしい
- ・現在既にお気に入りの薬剤師(薬局)があり、現に病院情報や病気についての相談をしている。
気が合えば薬剤師さんの方が医者より話しやすい。
- ・地域に住んでいる人が薬剤師として働いていれば、個人的な病院に関する情報を得ることもできるので、有難い。
- ・病院の医師に言いづらいことを相談に乗ってくれ、独立した医療機関として窓口となっただけだと有難い

- ・医師とは違う視点ではなしてほしい
- ・クスリの飲み合わせやなど
- ・ジェネリック医薬品について
- ・医師には聞きづらくて聞けなかったことや、診察時に時間がなくて聞けなかったとき。
- ・医師の評判などを聞きたい。
- ・病院のように病気やけがで出向く場所ではなく、普段の買物などで行くドラッグストアのようなところの薬剤師さんに疑問に思うことなどを気楽に聞けるとイイ。

3. 患者調査 総括

- 疾患啓発に関するTVCMは**出演者とストーリー性**で記憶、認識されていることがわかった。
- TV等で知り得た疾患について**薬剤師、薬局は相談対象とされていない**。
- 処方薬以外の相談先として**薬剤師、薬局を利用したいと考える人は3割弱**。

薬剤師200名の回答者属性

1ヶ月応需処方せん枚数

区分	回答数	割合
500枚未満	20	10.0
500～1,000枚未満	45	22.5
1,000～1,500枚未満	43	21.5
1,500～2,000枚未満	41	20.5
2,000枚以上	51	25.5
全体	200	100.0

薬局形態

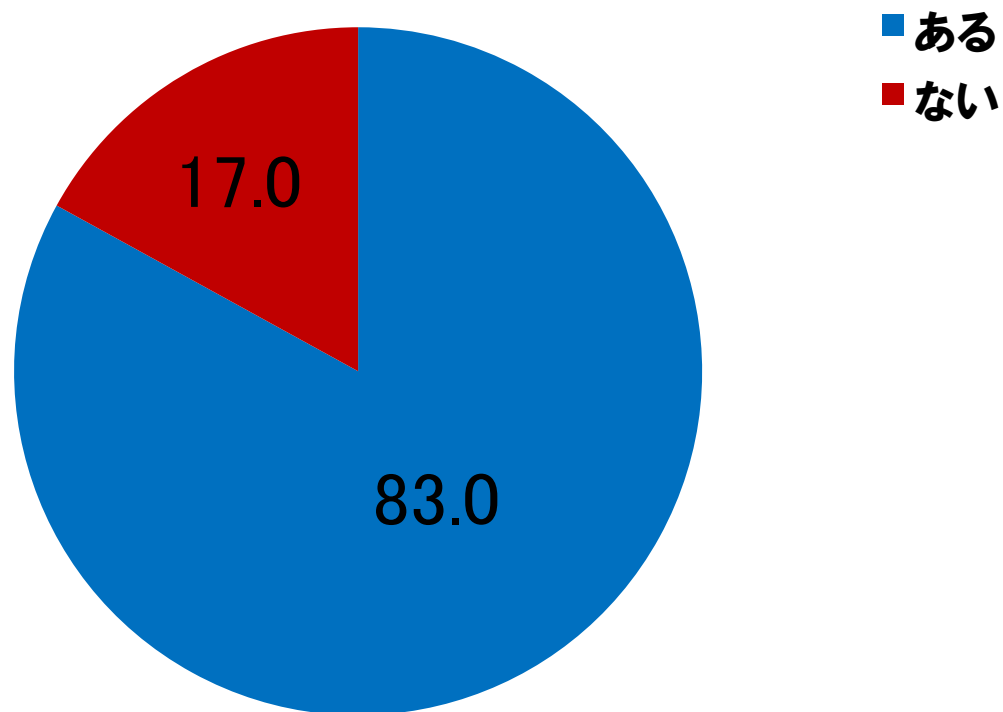
区分	回答数	割合
101店舗以上のチェーン薬局	18	9.0
51～100店舗以下のチェーン薬局	9	4.5
31～50店舗以下のチェーン薬局	11	5.5
21～30店舗以下のチェーン薬局	14	7.0
11～20店舗以下のチェーン薬局	18	9.0
6～10店舗以下のチェーン薬局	31	15.5
2～5店舗以下のチェーン薬局	58	29.0
単店	41	20.5
全体	200	100.0

薬局の立地状況

区分	回答数	割合
病院門前薬局-調剤基本料24点	11	5.5
病院門前薬局-調剤基本料40点	50	25.0
診療所門前薬局-調剤基本料24点	14	7.0
診療所門前薬局-調剤基本料40点	94	47.0
医療ビル・モールの中の薬局-調剤基本料24点	0	0.0
医療ビル・モールの中の薬局-調剤基本料40点	9	4.5
上記以外その他	22	11.0
全体	200	100.0

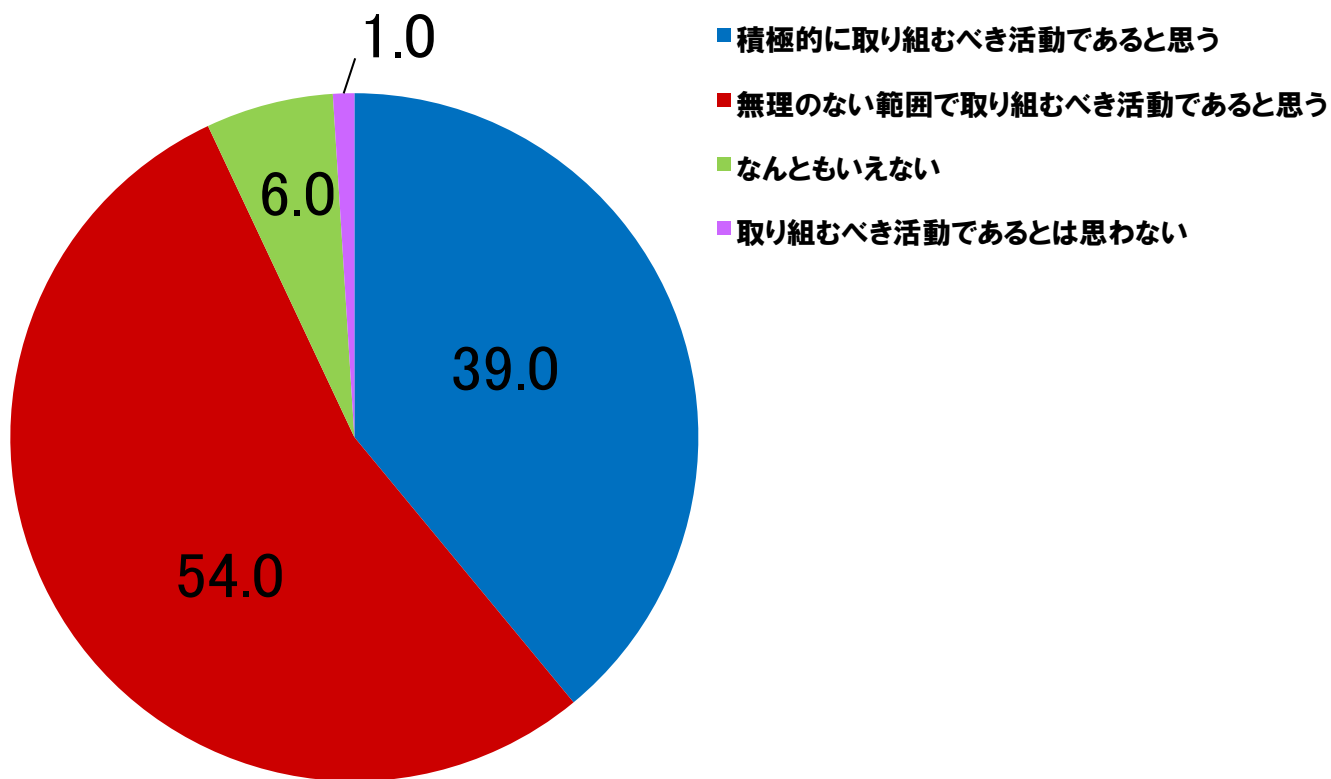
1. 受診勧奨

Q1. 患者さんとの対話(健康相談、症状などの話題)から本人及びその家族の方に対して医師への受診を勧めたことがありますか？



1-2. 受診勧奨

Q2. 受診勧奨は薬剤師として取り組むべき活動であると思いますか？

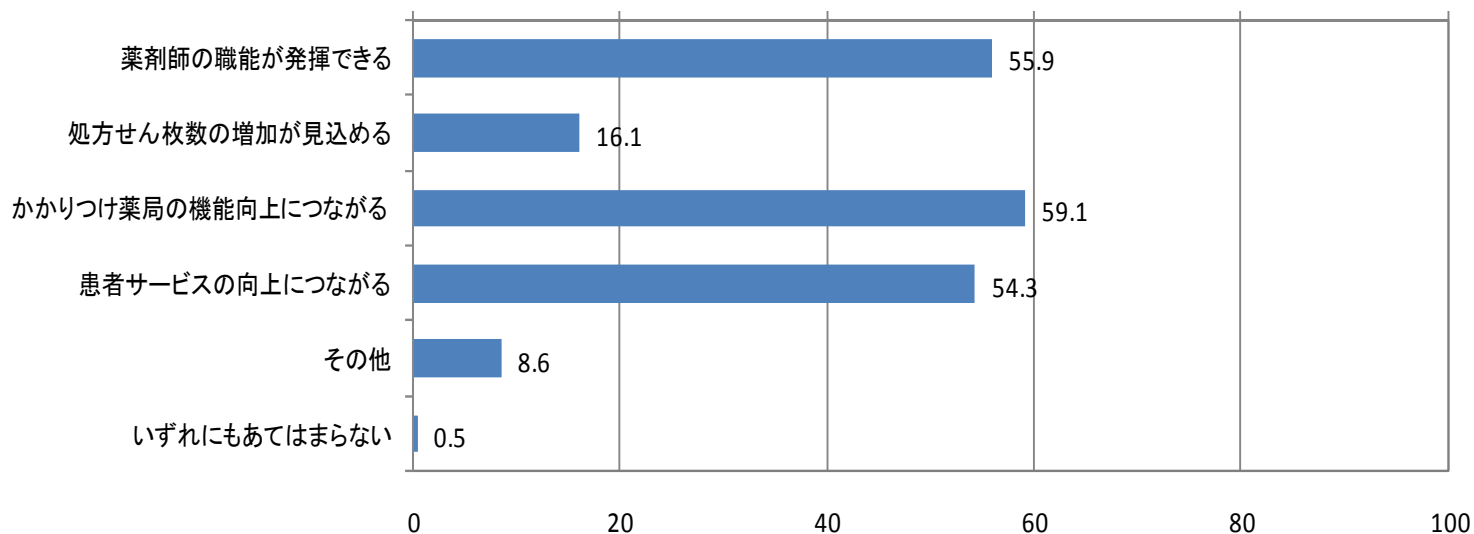


1-3. 受診勧奨

Q2-2. Q2で受診勧奨は薬剤師として取り組むべき活動であるかについて「積極的に取り組むべき活動であると思う」、「無理のない範囲で取り組むべき活動であると思う」を選択された方にお聞きします。

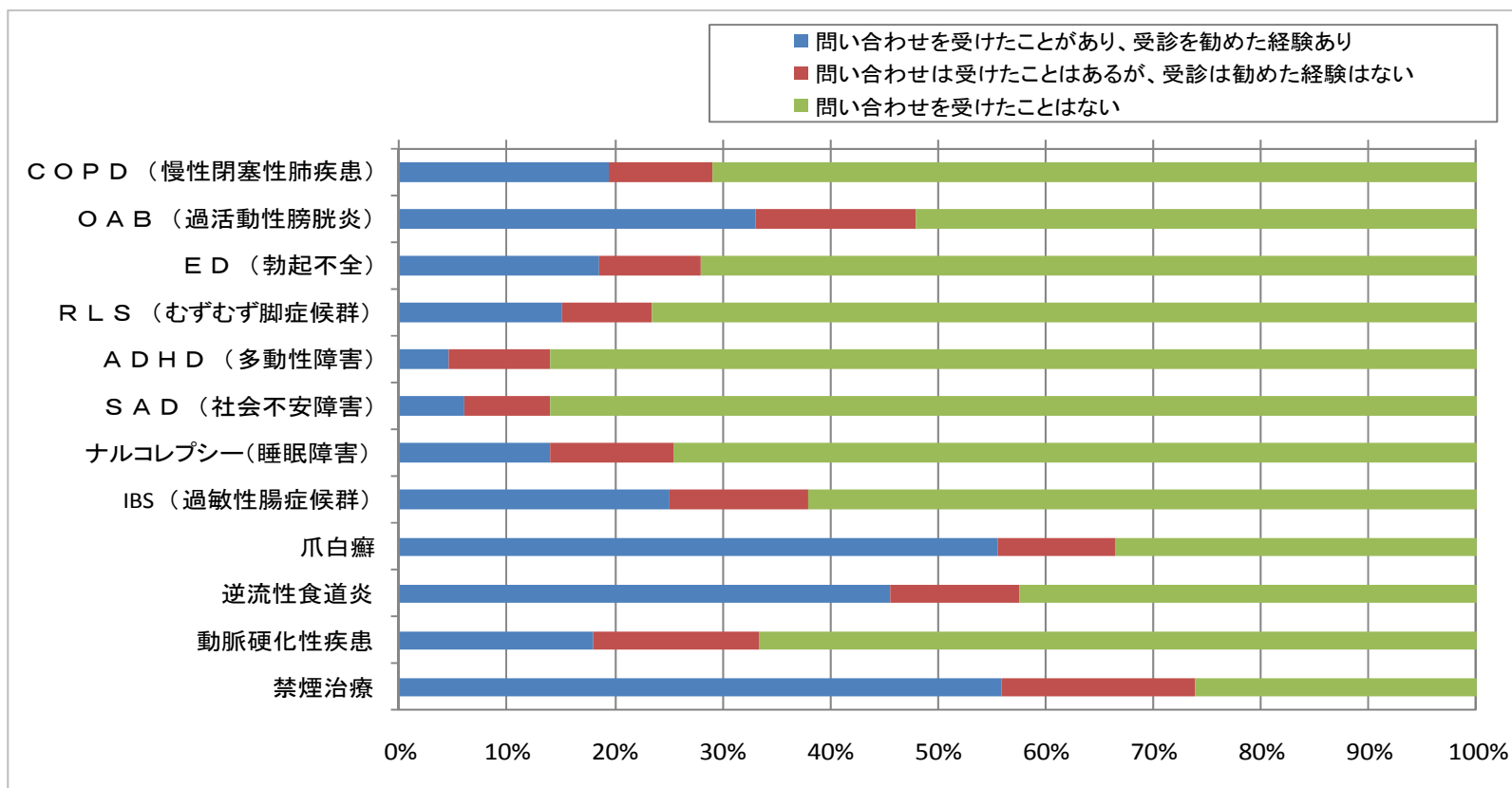
受診勧奨をすることによりどのような効用があると考えますか？あてはまるものを全てお選び下さい。

■ Q2-2 (単位: %)



2. DTC各疾患についての問い合わせ経験

Q3. 下記の疾患(治療法)について患者さんから問い合わせを受けたことがありますか？



3. 薬剤師 総括

- 受診勧奨は83%の薬剤師が経験し、90%以上が取り組むべき活動であると考えている。
- 受診勧奨の取り組み要因として「患者サービス」と「薬剤師としての職能発揮」の2つあることがわかった。